

令和元年度 指定管理者点検結果

施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 山上 誠二 住 所 玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日 (5 年間)
担 当 部 課	産業振興部農林水産課 電 話 0863-32-5561 E-mail nourinsuisan@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
令和元年度は、施設の外壁及び屋根の塗装、回遊通路の新設工事、出荷者出入口の自動ドア改修が行われ、施設全体の魅力が向上し、出荷者及び来場者の利便性が向上した。 10 月にはパン工房がオープンし、売上げは好調で、当初計画の約 2 倍の売上高となっている。 また、生産者（出荷者）及び社員が参加する先進地視察を実施し、社員の意識の向上や、出荷商品のブラッシュアップ等に繋がっている。 ハード、ソフト両面から、魅力向上に向けた取組を着実に実施できており、評価できる結果となった。	S

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A（良 好） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B（課題含） 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C（要改善） 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【法令等の遵守】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【安全性の確保】 利用者の安全確保の観点から、施設の修繕等が随時行われているとともに、繁忙期等における警備体制などが確保されており、良好な状態である。 【財産の適切な管理】 施設及び備品等の適切な管理がなされており良好な状態である。 【利用状況】 直売所においては、年間 25 万人を超える利用がある。 (レジ通過者数実績) 令和元年度 直売所 255 千人、特産品 100 千人 平成 30 年度 直売所 244 千人、特産品 86 千人 【コスト削減への方策】 レストラン部分を直営形式から民間事業者への貸出に変更するなど、指定管理者としてのコスト削減に取り組みつつ、施設全体の魅力向上に取り組むなど、様々な取組がなされている。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
生産者（出荷者）と消費者ニーズ等を勘案したサービス向上に取り組んでいる。	S
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
平成 28 年度に策定した経営改善計画に基づき各種取組を推進した結果、今期の利用者及び事業収入の増加に繋がっており、経営状態が改善され良好となった。	S

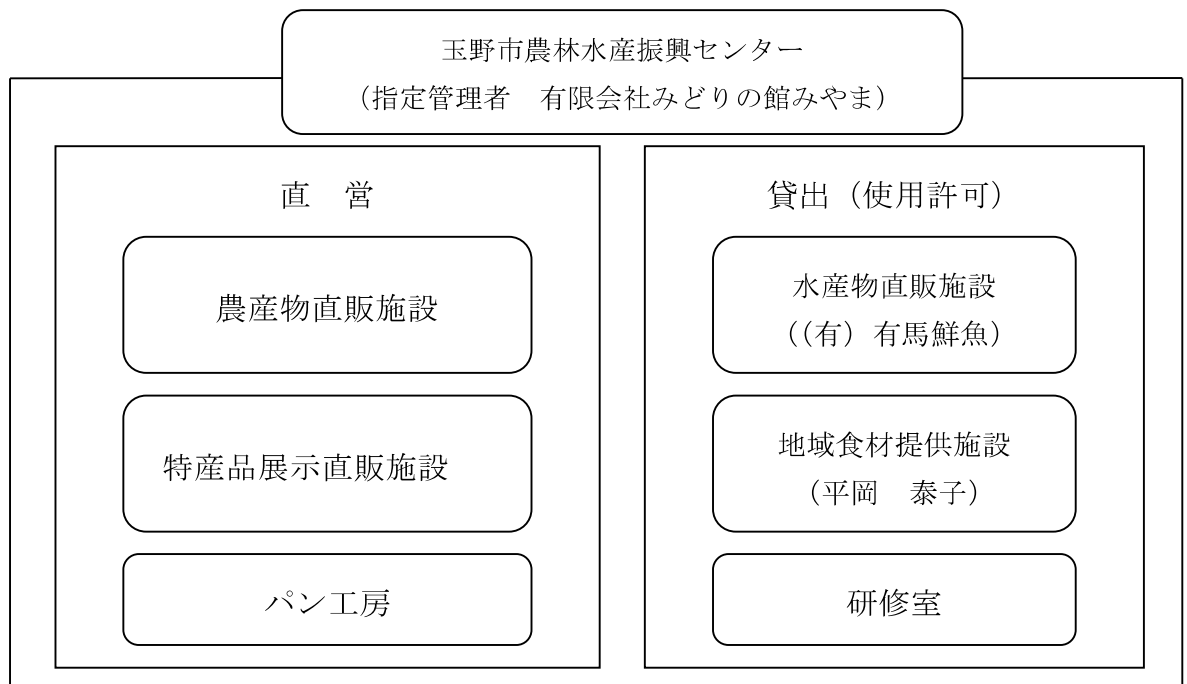
■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



(2) 人員配置状況

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	17	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	5	
パン工房	常勤職員	1	
	パート	7	
営農指導	常勤職員	1	
計		36	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

・建物・設備の保守管理業務

施錠解錠の日常管理の他、老朽化部分の小修繕を実施

・清掃業務

直営施設は社員による清掃を実施し、使用を許可している施設は使用者が清掃を実施

・警備業務

夜間・休日の警備を警備会社に委託して実施しているほか、イベント開催や繁忙期の周辺警備を随時委託実施

3 利用等の許可の状況

水産物直販施設	鮮魚販売者に対して単年度の使用を許可
地域食材提供施設	利用希望者に対して単年度の使用を許可
研修室	研修室利用希望者に対して随時使用を許可

II 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

水産物直販施設	使用許可	1 件（（有）有馬鮮魚）
地域食材提供施設	使用許可	1 件（平岡 泰子）
研修室	使用許可	9 0 件（農業者団体、視察対応、市農林水産課他）

III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

第4回道の駅みやま公園まつり×雑穀フェスタ2019（11月23日）を開催

主催：道の駅みやま公園まつり実行委員会（みどりの館みやま、玉野市公園緑化協会、玉野市）

共催：玉野市雑穀生産組合

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

（1）利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等

研修室使用料	191,500 円
水産物直販施設	4,994,400 円（400,000 円×12 月＋97,200 円×2 月）
地域食材提供施設	2,512,000 円（194,400 円×5 月＋220,000 円×7 月）

（2）減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等

研修室使用料	103,000 円（自主事業、玉野市の公共使用等のため）
--------	------------------------------

2 管理に係る収支の状況

別途添付の経営状況説明書のとおり

V 自己点検結果

施設利用者や、農産物直販施設の出荷登録農家への聞き取りを行うほか、関係機関からの意見聴取など、幅広く改善意見等の把握に努めている。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

水産物直販施設を改修して、直営のパン工房を開店し、新規顧客獲得を行った。従業員教育を推進し、接客マナー向上に努めた。

VII その他

第 22 期

経 営 状 況 説 明 書

—— 内 容 ——

1. 令和元年度決算の状況
2. 令和 2 年度事業計画の概要

有限会社みどりの館みやま

令和元年度

決 算 の 状 況

目 次

I .	令和元年度 事業報告書	-----	3
II .	令和元年度 決 算 書		
(1)	貸 借 対 照 表	-----	5
(2)	損 益 計 算 書	-----	6
(3)	販売費及び一般管理費	-----	7
(4)	製造原価報告書	-----	8
(5)	監 査 報 告 書	-----	9

I. 令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 事業実施状況

今年度は、玉野市の予算により施設の外壁及び屋根の塗装、回遊通路の新設工事、出荷者出入口の自動ドア改修が行われ、施設全体の魅力・利便性が向上した。中西鮮魚が退店したブースには、当社が直営でパン製造販売施設を開店した。

9月には、水産物直販施設の外装工事とパン製造加工施設の改修工事が完了し、10月1日に玉野市産米粉を使った食パンを販売する「パン工房」が開店した。パン工房の売上は好調で、当初計画のおよそ2倍の売上高となった。

3月は、玉野市にもコロナウイルスの影響が出始めたが、アルコール消毒やマスクなどの感染防止対策を講じて春彼岸の営業ができたため、年間売上は昨年よりも良かった。

雑穀栽培については、玉野市雑穀生産組合の事務局として、白小豆やもち麦などの栽培計画から販路拡大まで組合と連携して取り組んだ。ただし、例年行っていた「雑穀の日」PRイベントは、コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされた。

中山間地域“食と農村”交流促進事業にて作成した農業体験プログラムは、昨年に引き続き当社が受付窓口となって希望者を募り、八浜町大崎・大藪・番田地区の受け入れ農家へ繋ぐことにより、中山間地域への人の流れを作った。

また、11月23日（土祝）には、玉野市、玉野市雑穀生産組合及び玉野市公園緑化協会と協力して「第4回道の駅みやま公園まつり×雑穀フェスタ」を開催した。当日は、天候にも恵まれ1万2千人を超える集客があった。

令和元年度の総売上額は、384,967千円（対前年度比+46,848千円、113.8%）で、パン工房開業の初期投資増により、943千円の営業赤字を計上したが、施設改修助成金等の雑収入により最終3,182千円の純利益を計上した。総売上額は、平成22年度以来9年振りに3億8千万円を超えることとなった。

（1）農産物直販施設

改装後の口コミで出荷者数、来店客数共に好調で、農産物の出荷量も順調に増えている。第3回たまの楽農塾生の新規販売登録や店舗運営の評判もあり、新たな出荷者として24人の登録者を得たが、高齢による離農者も増加している。

売上額	267,367千円	（対前年度比	+3,346千円	101.3%）
来客数	255,691人	（対前年度比	+11,028人、	104.5%）
登録者数	351人	（対前年度比	+18人、	105.4%）

（2）特産品展示直売施設

昨年2月の改装後、広い通路や回遊性の高さで売場内の滞在時間が長くなり、売上高が大幅に増加した。新規登録者は6名であるが、高齢による廃業者も多い。

売上額	91,030千円	（対前年度比	+16,632千円、	122.4%）
来客数	100,997人	（対前年度比	+14,963人、	117.3%）
登録者数	85人	（対前年度比	-2人、	97.7%）

(3) 研修室

生産者の栽培技術や知識向上のため、たまの楽農塾と合同で野菜・花・果樹等の栽培指導を備前広域農業普及指導センターの協力により講習会を8回開催し、延べ179人が参加した。10月に変更となった消費税について、税務署職員による農家向け講習会も開催した。

【参 考】

(1) 水産物直販施設

新鮮な瀬戸内の鮮魚や焼きアナゴが手軽に手に入ると好評であった。有馬鮮魚は、5月に退店した中西鮮魚の顧客を取り込み前年比105%と売上を伸ばした。

売 上 額：152,493 千円 （対前年度比 －1,985 千円、98.7%）

(2) 地域食材提供施設

深山のカフェ食堂として、8月で5年を経過したが、事業者の公募は行わず引き続き営業を継続する契約を交わした。オリジナルメニュー開発など客単価を上げることで、来客数は減少したが売上は大きく伸ばした。

売 上 額：36,877 千円 （対前年度比 ＋4,329 千円、113.3%）

来 客 数：19,780 人 （対前年度比 －451 人、97.8%）

2 役員に関する事項

(令和2年3月31日現在)

就任年月日	役員名	氏 名	備 考
H30. 4. 1	代表取締役	山 上 誠 二	
H19. 7. 13	取 締 役	岡 本 英 俊	
H28. 9. 1	取 締 役	金 川 洋 一	支配人
H23. 6. 1	監 査 役	谷 貢	

3 法人登記に関する事項

なし

4 職員に関する事項

(令和2年3月31日現在)

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	17	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	5	
パン工房	常勤職員	1	
	パート	7	
営農指導	常勤職員	1	
計		36	

Ⅱ．令和元年度決算書

(1) 貸借対照表

令和2年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 57,807,409 】	【流 動 負 債】	【 32,277,160 】
現金及び預金	46,410,219	買 掛 金	3,428,420
売 掛 金	2,608,300	未 払 金	14,188,480
商 品	2,740,210	預 り 金	11,158,860
原 材 料	1,009,525	法人税等充当金	3,372,400
貯 蔵 品	3,095,511	商 品 券	129,000
立 替 金	367,370		
未 収 入 金	1,576,274	【固 定 負 債】	【 1,500,000 】
		退職給与引当金	1,500,000
【固 定 資 産】	【 73,142,069 】		
(有形固定資産)	(72,092,069)	負債の部合計	33,777,160
建 物	22,158,961	純 資 産 の 部	
建物付属設備	43,190,755		
構 築 物	677,779	【株 主 資 本】	【 97,206,058 】
車両運搬具	2	(資 本 金)	(3,000,000)
設備造作	0	資 本 金	3,000,000
工具器具備品	6,064,572		
		(利益剰余金)	(94,206,058)
(投資その他の資産)	(1,050,000)	利 益 準 備 金	1,500,000
出 資 金	50,000	別 途 積 立 金	15,500,000
保 証 金	1,000,000	施設整備積立金	34,500,000
		繰越利益剰余金	42,706,058
【繰 延 資 産】	【 33,740 】		
舗装負担金	33,740	純資産の部合計	97,206,058
資産の部合計	130,983,218	負債及び純資産の部合計	130,983,218

(2) 損益計算書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額	円
(経常損益の部)		
(営業損益の部)		
【純売上高】		
商品売上高	106,163,770	
売上高(パン工房)	24,594,009	
販売委託料	35,411,381	
販売手数料	3,414,654	
受取管理料	6,887,752	
登録・会費収入	1,014,224	177,485,790
【売上原価】		
期首棚卸高	322,704	
商品仕入高	76,796,721	
当期製品製造原価	26,224,567	
合計	(103,343,992)	
期末棚卸額	2,740,210	100,603,782
売上総利益		(76,882,008)
【販売費及び一般管理費】		77,825,040
営業損失		(△ 943,032)
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取利息	118	
道の駅清掃委託金	656,000	
急速充電器管理委託料	360,000	
雑収入	4,783,885	5,800,003
【営業外費用】		
営業外収入関係費用	1,601,562	
たまの楽農塾	69,381	
雑損失	3,704	1,674,647
経常利益		(3,182,324)
税引前当期純利益		(3,182,324)
当期純利益		(3,182,324)

(3) 販売費及び一般管理費

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額	
		円
役 員 報 酬	39,000	
給 料 手 当	35,573,784	
賞 与	6,239,915	
雑 給	56,000	
支 払 報 酬 料	1,733,368	
法 定 福 利 費	4,519,393	
厚 生 費	1,398,461	
減 価 償 却 費	3,110,543	
賃 借 料	77,182	
修 繕 費	732,073	
事 務 用 品 費	404,880	
消 耗 品 費	3,968,919	
水 道 光 熱 費	3,261,189	
旅 費 交 通 費	156,646	
支 払 手 数 料	532,187	
租 税 公 課	213,517	
交 際 接 待 費	0	
保 険 料	359,521	
通 信 費	307,270	
諸 会 費	100,750	
広 告 宣 伝 費	575,618	
新 聞 図 書 費	80,083	
荷 造 運 賃	462,259	
会 議 費	5,427	
清 掃 委 託 費	110,106	
車 輦 費	164,212	
研 修 会 費	61,473	
管 理 諸 費	2,348,615	
雑 費	239,711	
リ ー ス 料	5,009,157	
備 品 費	478,727	
地 代 家 賃	5,505,054	
合 計		(77,825,040)

(4) 製造原価報告書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額	
		円
【材 料 費】		
期首原材料棚卸高	0	
原 材 料 仕 入 高	13,229,403	
小 計	(13,229,403)	
期末原材料棚卸高	1,009,525	12,219,878
【労 務 費】		
賃 金	7,052,198	
賞 与	460,000	
法 定 福 利 費	716,207	
厚 生 費	314,253	8,542,658
【製 造 経 費】		
水 道 光 熱 費	632,945	
消 耗 品 費	526,526	
旅 費 交 通 費	206,394	
減 価 償 却 費	76,410	
修 繕 費	156,000	
車 両 費	12,056	
研 修 会 費	300,000	
備 品 費	1,220,418	
事 務 用 品 費	24,512	
リ ー ス 料	1,969,900	
管 理 諸 費	185,960	
諸 会 費	150,000	
広 告 宣 伝 費	910	5,462,031
総 製 造 費 用		(26,224,567)
当期製品製造原価		(26,224,567)

監 査 報 告 書

令和 2 年 5 月 18 日

有限会社みどりの館みやま
代表取締役 山上 誠二 殿

監査役 谷 貢 ㊟

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの、第 22 期営業年度における取締役の執務執行を監査するため、取締役会及びその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等を閲覧し、実査、立会、照合を行い、会計帳簿等につき検討を加えた結果、次のとおり報告する。

1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認める。
2. 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
3. 事業報告の内容は、真実であると認める。
4. 取締役の業務遂行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する重大な事実とは認められない。

以上

令和 2 年度

事業計画の概要

目 次

I.	令和2年度事業計画書	-----	12
II.	令和2年度予算書	-----	13
	販売費および一般管理費内訳	-----	14
	製造原価報告書内訳	-----	15

I. 令和2年度事業計画書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

今年度は、3カ年をかけて取り組んだ全施設の改修工事が完了し、魅力的な施設となったことから、県内外からの集客増を見込んでいたが、年度当初から、コロナウイルスの影響で桜祭りが中止となった。さらに、ゴールデンウィークは全館臨時休業する事態となり、前途多難の幕開けとなっている。売上減少や従業員への休業補償など、慎重に判断しつつ持続可能な経営を模索したい。

現状、出荷者向け先進地視察や意見交換会は自粛予定だが、こちらも社会情勢を踏まえて判断していきたい。

1. 農産物直販施設

昨年度、消費税の増税時に全ての出荷者手数料を15%に統一したが、農産物の売れ行きが好調なため、出荷者・数量共に増加傾向である。今後も、この状態を持続させるために、従業員のマナーや意識改革を指導して、出荷者・購入者双方に魅力的な直売所を目指す。その一環として、今まで空席だった直売所店長に女性を指名して、女性ならではのきめ細かいサービスを期待する。

また、これまでも出荷者に配慮しつつ行ってきた適切な仕入れにより、購買者の機会損失を作らないように心掛ける。

2. 特産品展示販売施設

納入事業者の高齢化が目立ちはじめ、弁当の品数が減少しているので、積極的に新規登録者を募っていく。玉野市産の特産品PRは今後も継続して推進していく。

屋外ブース（移動式屋台）駅前マルシェは全て出店者が決まり、玉野市産米粉を使ったクレープや米粉から揚げ等、ここでしか味わえないモノを提供してお客様に好評である。新規出店希望者があとを絶たないため、今年度は第2弾を検討する。

3. 研修室

周年利用の定期利用者を増やし、稼働率を上げる努力をする。備前広域農業普及指導センターの協力を得て、今年度も生産者に好評の野菜・花・果樹の栽培管理講習会を8回開催する。たまの楽農塾生や、ステップアップ講座の座学にも研修室を利用する。

【参考】

・水産物直販施設

名物の「焼きアナゴ」をメインに、地物の新鮮で安価な魚介類や、その加工品の提供とともに、より一層親しみやすい売り場にする。長らく当社の営業許可証を貸与していたが、昨年度独自に取得してもらい、衛生面での責任を自覚させた。今後も施設管理者として、指導を徹底する。

・地域食材提供施設

昨年9月から単年度契約に変更し、営業許可も取得してもらった。課題であるここでしか食べられない料理（メニュー）開発を強く要請している。昨年同様、公共施設の自覚を持って経営するよう指導する。

Ⅱ．令和2年度予算書

自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日

科 目	予算額	前年度予算額
(経常損益の部)		千円
(営業損益の部)		
【純売上高】	(212,260)	(159,400)
商品売上高	115,000	115,000
売上高(パン工房)	50,000	0
販売委託料	36,000	33,000
販売手数料	3,500	3,000
受取管理料	6,760	7,400
登録・会費収入	1,000	1,000
【売上原価】	(125,900)	(74,000)
期首棚卸高	2,740	322
商品仕入高	77,000	74,000
製品製造原価	48,900	0
合 計	128,640	74,322
期末棚卸額	2,740	322
売上総利益	86,360	85,400
【販売費及び一般管理費】	84,730	84,320
営業利益	1,630	1,080
(営業外損益の部)		
【営業外収益】	(3,016)	(2,960)
受取利息	0	0
道の駅清掃委託金	656	600
急速充電器管理委託料	360	360
雑 収 入	2,000	2,000
【営業外費用】	(2,100)	(2,000)
営業外収入関係費用	2,000	2,000
たまの楽農塾	100	0
経常利益	2,546	2,040

令和2年度 販売費及び一般管理費内訳（予算）

単位：千円

科 目	予 算 額	前年度予算
役員報酬	45	45
給料手当	38,000	38,000
賞与	6,000	5,500
雑給	100	100
支払報酬料	1,800	1,800
法定福利費	5,000	4,700
厚生費	1,500	1,300
減価償却費	6,500	6,500
賃借料	500	6,000
修繕費	1,000	1,000
事務用品費	400	400
消耗品費	4,000	3,500
水道光熱費	3,500	4,000
旅費交通費	200	200
支払手数料	500	250
租税公課	200	200
交際接待費	30	30
保険料	360	300
通信費	300	300
諸会費	200	200
広告宣伝費	300	600
新聞図書費	80	80
荷造運賃	400	400
会議費	15	15
清掃委託費	150	200
車輛費	300	300
研修会費	300	800
管理諸費	2,000	2,000
雑費	100	100
リース料	5,100	5,100
備品費	400	400
地代家賃	5,450	0
合 計	84,730	84,320

※科目間の流用を認める

令和2年度 製造原価報告書内訳（予算）

科 目	予算額	昨年度決算額
		千円
【材 料 費】	(24,000)	(12,220)
期首原材料棚卸高	1,009	0
原 材 料 仕 入 高	24,000	13,229
小 計	25,009	13,229
期末原材料棚卸高	1,009	1,009
【労 務 費】	(15,600)	(8,542)
賃 金	13,000	7,052
賞 与	800	460
法 定 福 利 費	1,500	716
厚 生 費	300	314
【製 造 経 費】	(9,300)	(5,462)
水 道 光 熱 費	1,200	633
消 耗 品 費	900	527
旅 費 交 通 費	50	206
減 価 償 却 費	150	76
修 繕 費	100	156
車 両 費	50	12
研 修 会 費	50	300
備 品 費	2,000	1,220
事 務 用 品 費	50	25
リ ー ス 料	4,200	1,970
管 理 諸 費	200	186
諸 会 費	300	150
広 告 宣 伝 費	50	1
合 計	48,900	26,224

【書式例 5-4】

令和元年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和2年4月30日
施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井2丁目4464番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 山上 誠二 住 所 玉野市田井2丁目4464番地
指 定 期 間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（5年間）
担 当	電 話 0863-32-0115 E-mail miyama@m-y.jp

評価内容の総括	総合評価
5カ年の指定管理初年度である今年度は、玉野市と協力して施設改修の総仕上げとして、施設全体の外壁・屋根塗装や、回遊性を高める通路の新設を行った。 玉野市産米粉を使用した食パンなどを販売する直営施設パン工房を10月に新規開店させたことも相まって、来場者数・売上高共に大幅な伸びを見せており、約10年前の状態まで回復した。	A

■「総合評価」の評価基準

- S（優良） 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A（良好） 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B（課題含） 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C（要改善） 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 規定に基づく施設管理を行い、施設内の整理整頓や清掃を徹底した。 【法令等の遵守】 必要な許可の取得や免許の更新見直しを行い、法令遵守に努めた。 【安全性の確保】 施設内の定期的な巡回を行い、保守点検をし、必要に応じて小修繕を行った。 24時間防犯カメラの増設や、夜間警備の契約をして、施設内の警備を強化した。 【財産の適切な管理】 施設内備品の適切な使用や管理を行った。 【利用状況】 昨年度までの施設改修効果で、利用者は増加している 【コスト削減への方策】 人事評価制度を導入して、昇級や賞与の基準を明確にしたことで、従業員の働き方に対する考え方を指導した。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
直営施設としてパン工房を開店するなど、施設全体の魅力向上に務めた。屋外回遊通路や、出荷者出入口の自動化など、利便性を高めた。	A
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
施設の魅力向上効果による売上高の大幅増加により、経営状況は安定した。	A

■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。